

平成 23 年度 公益財団法人わかやま産業振興財団実績報告

平成 23 年度における事業の概要及び財務状況は次のとおりである。

1 わかやま企業成長戦略事業

(1) 中小企業支援センター事業

ア 支援機関等連携(人材交流強化)促進事業

各種支援機関との連携促進、人材交流の強化・促進を図るとともに近畿府県との交流を図るため近畿ブロック会議等へ参加した。また、職員が情報に関する能力開発のため講習会及び研修会等へ参加した。

イ 窓口相談事業

中小企業者等が抱える取引適正化・苦情紛争処理等の問題について、プロジェクトマネージャーや弁護士等が相談に応じた。

取引適正化・苦情紛争処理等相談 200 件

(内訳)

内 容	件数	内 容	件数
マーケティング	57 件	法律	2 件
経営全般	27 件	省エネ	0 件
資金	17 件	I S O	0 件
ビジネスプラン	57 件	技術	10 件
会社設立	10 件	I T	4 件
特許	5 件	その他	11 件

・下請かけこみ寺相談事業 4 件 (うち弁護士相談 2 件)

ウ 情報機器整備事業

財団ネットワークシステムの管理、運営、高度利用を推進するとともに、県内中小企業からの情報化相談や経営に必要な情報の創出・収集・加工及びホームページ・財団サポートメールによる情報提供を行った。

・サポートメール件数(毎週配信) 2,861 件 (平成 24 年 3 月末現在)

・ホームページアクセス件数 (年間計) 1,982,524 件 (平成 24 年 3 月末現在)

エ 地域プラットフォーム事業

わかやま地域産業総合支援機構(らいぼ)の中核的支援機関として、新事業創出支援体制の連携強化のため、支援施策の情報交換を中心とした支援機関 13 機関、資金支援分科会 11 機関による支援施策分科会、13 機関による産学官連携分科会をそれぞれ開催したほか、参加支援機関 28 機関による幹事会を開催し、情報交換を行った。

オ 委員会運営事業

中小企業支援事業に適合するビジネスプランかどうかを評価・審査する企業評価組織として、事業可能性評価委員会及び企業カルテ評価委員会の 2 委員会を開催し、各プランの評価及び審査を実施した。

委 員 会 名	開催数	選定数
事業可能性評価委員会	1 回	5 件
企業カルテ評価委員会	4 回	42 件

(2) 創業・経営支援事業

ア 専門家設置事業

中小企業者等からの相談やベンチャー企業発掘及び支援体制の構築等支援事業を円滑に運営するため、プロジェクトマネージャー 1 名、インキュベーションマネージャー 1 名及び観光産業プロジェクトマネージャー 1 名を配置し、相談サービスの向上を図った。

イ 専門家派遣事業

・創業や企業経営の向上を目指す中小企業者等に対し、経営・技術・情報化等に関する中

小企業診断士や技術士等の専門家を派遣し、診断助言を行った。

- ・派遣企業数 21 社
- ・延派遣回数 173 回
- ・先進企業のノウハウを中小企業に蓄積するため、ものづくりに関する技術改善、生産管理等総合的なアドバイスを行うことができる先進企業OBチームを県内企業に派遣した。
- ・派遣企業数 4 社
- ・延派遣回数 80 回

ウ 企業プロデュース事業

県内のやる気ある企業に対して、新たなビジネスモデルや「儲かる仕組み」をプロデュースする専門家チーム 10 名を組織し、人材・商品のブラッシュアップにより、企業の経営革新、第 2 創業、新製品開発及び販路開拓等企業のビジネスプラン実現への支援を行った。また、専門家プロデュースチームによる会議を 4 回開催し、専門家の選定や支援の方向付け等の検討を行った。

- ・選定企業数 42 社
- ・プロデュースチーム延派遣回数 68 回

エ 経営革新支援事業

①経営革新事業

新商品等の開発、販路開拓のため展示会出展等、経営管理能力及び技術力等の向上のために行う事業に要する経費の一部を助成した。

- ・補助企業数 5 件 補助額 12,840,000 円

補助事業者	補助事業内容	補助額（実績）
(有)キセイテック	ヒバ加圧抽出実証試験 ほか	2,893,000
(株)システムキューブ	「うららか」の販路開拓のための調査及び指導事業	731,000
美紀ニット(株)	海外メゾンへの生地販売計画	4,429,000
(株)ユニワールド	機能性の高い超薄型手袋および農作業用に適した新しい手袋の開発とその事業化	3,544,000
和歌山富士木工(株)	曲線の美しさを生かした和・洋住宅にマッチングする新しいデザインの調度品類（インテリアグッズ）の開発	1,243,000

②販路開拓事業

自社で開発した新商品等の販路開拓のための国内展示会への出展に要する経費の一部を助成した。

- ・補助企業数 7 件 補助額 2,160,000 円

補助事業者	補助事業内容	補助額（実績）
(株)伊藤農園	地方銀行フードセレクション 2011	377,000
関西化学(株)	第 25 回東京ビジネス・サミット 2011	142,000
(株)キクタニ	東京デンタルショー 2011	110,000
紀州食品(株)	・地方銀行フードセレクション 2011 ・こだわり食品フェア 2012 ・第 5 回アグリフード EXPO	300,000

(有)シーエスピー	・ベビー&キッズエキスポ 2011 ・マタニティ&ベビーフェスタ 2011	500,000
丸八水産(有)	第1回ふるさと食品“おとりよせ”展示 商談会	231,000
(株)宮源	第27回日本静脈経腸栄養学会	500,000

(3) 販路開拓推進事業

ア 企業登録の推進事業

企業訪問等により下請取引情報提供の基礎となる受・発注企業の登録を推進した。

イ 受発注情報収集提供等の促進事業

県外大手企業の発注計画や発注ニーズについて、ビジネスマッチングステーションを活用し発注案件の収集を図ったほか、財団独自の発注アンケート調査や専門調査員による発注企業開拓訪問などにより県内登録企業に情報提供を行うとともに、取引あっせんの成立に努めた。

ウ 企業情報収集提供等の促進事業

受発注案件、取引改善関係法令及び財団事業等を掲載した情報誌「財団だより」を毎月発行し、情報提供を行った。また、登録企業の自社製品、加工技術を掲載した中小企業ガイドブックを作成し、県外発注企業 820 社に配布するとともに、新規取引先の拡大と取引あっせんに努めた。さらに、県内下請中小企業の受注状況を把握し、下請取引業務の円滑化を図るための資料とするため「経営受注動向調査」を実施した。

(業務遂行状況表)

項 目		前年度まで	本年度	累計
登録企業数	発注企業	446	2	448
	受注企業	913	1	914
発注申出件数		2,707	167	2,874
受注申出件数		4,342	202	4,554
あっせん紹介件数		9,147	297	9,444
あっせん紹介 結果	成立件数	1,668	30	1,698
	不成立件数	7,479	267	7,746
契約成立当初受注金額(千円)		2,832,943	89,962	2,922,905
指導相談件数	計	16,829	590	17,419
	あっせん相談関係	9,537	304	9,841
	経営関係	4,334	33	4,367
	技術関係	1,879	30	1,909
	苦情・紛争関係	119	2	121
	その他	960	221	1,181
発注開拓企業数		1,734	68	1,885

エ 広域商談会開催事業

県内外の大手メーカー等を招へいし、受注企業とのマッチングの場を提供する個別商談会を和歌山市、大阪市、京都市においてそれぞれ1回開催し、取引先の開拓、取引あっせんの円滑化に努めた。

また、優れた自社製品、産品を有する県内企業と県内外の購買企業との商談の場「わかやま産品商談会」を和歌山市、大阪市においてそれぞれ1回開催し、新規取引先の開拓等販路開拓を行った。

・あっせん成立件数 30件 契約金額 約9千万円

・出展企業数 129 社 購買企業 148 社

オ 中小企業総合展事業

中小企業者等の優秀な技術、製品等を一堂に展示し、中小企業者等の製品開発力、加工技術等を紹介するとともに、新規取引先の開拓及び広域的な受注機会の増加に努めた。

(4) 研究開発強化事業

ア 産学官研究推進事業

県内企業の研究開発を促進するため、産学官の人的ネットワーク構築や研究開発テーマの調査・研究検証を目的として、県内中小企業と大学、公設試験研究機関等の研究員等が主宰する産学官研究コンソーシアム7件の運営を助成した。

・ネットワーク構築 2件

食品開発支援体制強化研究コンソーシアム（近畿大学）

伝統食文化ブラッシュアップ事業（和歌山大学）

・事業化可能性調査 5件

青みかんコンディショナー研究開発コンソーシアム（有）F・K小林）

和歌山山椒研究会（ネイチャー・コア・サイエンス株）

切り花コサージュ（井関測量株）

梅セラミド開発研究会（中野BC株）

木炭を活用した紀州ナメコの栽培（紀州きのこ産業）

イ 新連携共同研究事業

地域における経営資源等を活用した新事業創出を目指す中小企業者等が、大学や公設試験研究機関との連携により先端技術を活用した共同研究を行うことで、新事業展開を図ることを目的に取り組み5グループ（連携体）に対し、共同研究を委託した。

番号	テーマ	委託企業 (コア企業)	連携体構成機関
1	新規紫外線吸収ポリマー微粒子の製造技術開発	新中村化学工業株	近畿大学 和歌山県工業技術センター
2	バイオベース有機EL素材の開発	株日本化学工業所	和歌山県工業技術センター
3	木質炭素化粉末を添加した混和着色強化剤による導電性コンクリート床材の開発	株和光	和歌山県工業技術センター
4	GPSを用いた無線遠隔航跡記録装置の開発	株宮崎エンジニアリング	和歌山大学
5	ウメ伐採樹等を活用したウメいや地回避炭の開発と商品化	紀州炭素株	和歌山県うめ研究所 和歌山県林業試験場

ウ 新産業育成支援事業

県内企業が有する優れた技術（こだわり技術）を活用し、21世紀型の「ものづくり企業」の創出を促進するため、新製品・新事業の創出等「ものづくり」に要する経費の一部を助成した。

・補助企業数 3件 補助額 5,860,000円

補助事業者	補助事業内容	補助額（実績）
(株)フォーテック	シイタケ廃菌床を材料とした日本産カブトムシ幼虫専用育成飼料の開発及び試作	1,057,000
(株)山東鐵工所	高機能繊維の洗浄及び加工（含浸）装置の開発	3,000,000
(有)エコファームわかやま	紀州桑の葉茶（粉末）の高度活用としての無添加・無香料の石鹼の開発	1,803,000

(5) 技術・知的財産強化事業

ア 新事業支援コーディネーター設置事業

県内中小企業が保有する知的財産や技術を活用したビジネスモデルの構築に対するアドバイスや県内企業の技術ニーズと大学や県立試験研究機関が有する特許・技術シーズのマッチングによる事業化支援等を行うため、新事業支援コーディネーターを設置した。

- ・企業訪問件数135回、来訪66回
- ・特許等の出願・活用・契約支援31件
- ・新事業・新商品開発支援10件
- ・知的財産関連事業支援4件

イ 技術連携コーディネーター設置事業

県内企業訪問によるシーズ・ニーズの発掘を行うとともに、大学や公設試験研究機関等が持つシーズを把握し、それらをマッチングさせることにより産学官の技術連携による研究開発を育てていく、技術連携コーディネーターを設置した。

年間企業・大学等訪問件数50社65件

- ・特許・技術シーズ紹介 10件
- ・特許・技術ニーズ把握 6件

ウ 科学技術コーディネート機能強化事業

県立試験研究機関の研究成果の技術移転、公募型研究開発資金獲得のため産学官連携による研究開発プロジェクトの立案等をアドバイス、コーディネートする科学技術コーディネーターを設置した。

・年間企業・大学等訪問件数 28件

エ 新技術育成情報活用支援事業

先端分野に係る研究開発を目指す県内中小企業の相談に応じ、商用データベースを活用し、研究テーマの立案・ブラッシュアップ、技術の権利化に必要な先行特許情報や学術論文等の基礎的調査を行い、情報提供、相談等を行った。

・検案件数161件

(6) 成長企業育成支援事業

地域中核企業の育成を目指すため、成長企業が抱える課題に対し、重点的・継続的な集中支援を行うサポーターチームを結成し、支援を行った。

- ・支援企業数 2社
- ・派遣延回数 36回

企業名	支援内容
(株)インテリックス	①月次予算管理強化支援 ②事業展開促進について
ワコン(株)	①大型ボックスパレット拡販にあたってのマーケティング支援 ②動脈・静脈物流の食品・医療医薬・精密機器企業及び物流会社との連携による拡販（具体的商品開発と販売戦略の立案及び企業紹介）について

(7) 新・成長企業育成支援事業

地域におけるリーディングカンパニーの育成・支援を目的とし、新事業の展開等に取り組む中小企業者等の成長に必要な調査分析及び戦略策定等支援及び中核人材の導入支援を行った。

企業名	委託先	支援内容
(株)河北食品	紀陽リース・キャピタル(株)	調査分析及び戦略策定等支援 中核人材の導入支援
宮本産業(株)	(株)経営戦略室	調査分析及び戦略策定等支援 中核人材の導入支援
(株)システムキューブ	荒牧裕一（中小企業診断士）	調査分析及び戦略策定等支援

2 中小企業支援基盤整備促進事業

中小企業への情報化促進普及啓発、企業支援データベースの拡充や情報化基盤に関する保守管理等を行った。

3 国際経済交流支援事業

県内企業の国際的なビジネス活動を支援するため、和歌山国際経済サポートデスク相談員1名を設置し、貿易・投資等の相談に応じるほか、グローバルな経済、貿易等、最新情報の収集・提供を行った。また、和歌山国際ビジネス交流サロンを創設し、中小企業者等との総合交流の場を持ち企業間の相互連携意識の醸成、国際化マインドの育成等に努めた。

・相談件数 延べ101件

<地域別相談実績>

アジア	ヨーロッパ	北米	その他	合計
72件	3件	7件	19件	101件

<講座・セミナー開催実績>

開催日	講座・セミナー名	参加者数
5月10日	貿易実務講座「輸出編・輸入編」	51名
8月2日	貿易実務講座「ロールプレイ編」	32名
9月20日	海外販路開拓セミナー	58名
10月14日	進出企業の抱えるリスク「北京編」	28名
12月8日	貿易実務講座「応用編」	36名
3月1日	インドセミナーin和歌山	86名

<その他>

開催日	内 容	参加者数
9月8日	トルコ共和国での和歌山産品商談会・訪問団実施報告会及び第8回和歌山国際ビジネス交流サロン	48名
11月30日	第9回和歌山国際ビジネス交流サロン	8名
3月5日	中国ビジネスセミナー及び第10回和歌山国際ビジネス交流サロン	46名

4 わかやま中小企業元気ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済」を目標に「地域経済を支える中小企業を育成・振興し、足腰の強い地域産業の創出・育成」の実現を図るため、地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、中小企業者等と大学、国立工業高等専門学校や公設試験研究機関との共同研究等から生まれた研究成果の事業化及び中小企業者等による新たな事業構想を発掘するためのコーディネート活動に対し、支援を行った。

・支援内訳

単位:円

事業名	件数	補助率	交付決定額
地域資源活用事業A	17件	2/3	32,865,000円

地域資源活用事業B	8件		36,143,000円
新産業育成事業A	2件		5,639,000円
新産業育成事業B	3件		27,763,000円
産業支援機関事業	6件	4/5	4,652,000円
合計	36件		107,062,000円

5 わかやま農商工連携ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済の創造」の実現に向け、本県経済の中核を担う中小企業者と農林漁業者の活性化を図るため、中小企業基盤整備機構、和歌山県、県内の金融機関等の資金で「わかやま農商工連携ファンド」を創設し、県内の農商工連携を促進させ、地域経済の振興に資する取り組みを当ファンドの運用益によって助成した。

・助成件数 8件 交付決定額 29,401,000円

助成事業者	事業内容	交付決定額
(株)つじや辻本商店 紀ノ川農業協同組合	和歌山産の野菜（きゅうり等）を用いた外食産業向け漬物商品の開発	5,000,000
(有)キセイテック (有)原見林業	スギ・ヒノキ等の抽出液による農業用「特定防除資材」の開発	3,323,000
ながみね農業協同組合 (有)橋本漆芸	特産干山椒を用いた鮮度・香りのよい山椒粉及びデザイン性の高い紀州漆器容器の開発	2,559,000
(株)石橋 ワサビの里の農業を育てる会	ワサビの里の山菜・キノコプロジェクト	4,886,000
(株)ふみこ農園 ながみね農業協同組合	ぶどう山椒と山ぶきなどを使った加工食品「デコ飯」シリーズの開発	4,232,000
すさみ開発(株) 熊野プライムフード協同組合	野菜残渣等を再生利用した安全かつ安価で高品質の養豚用飼料の開発	5,000,000
(株)きてら (株)秋津野	柑橘の外皮並びに果肉を用いた加工品の開発	893,000
グリーン日高農業協同組合 紀州食品(株) (株)伊藤農園 (有)花みつ (株)木の国	J Aブランド商品のゆら早生、うんしゅうみかん、さつき八朔を使用した缶詰・ジュース・菓子・アイスクリーム等加工品の開発	3,508,000

6 元気企業技術データベース構築事業

県内中小企業の優れた技術、こだわりの技術を調査・発掘し、情報発信することで県内中小企業の受注機会の増加、販路開拓を促進するため、当財団ホームページ上で公開している「元気企業技術データベース」への企業登録を促進した。事業の実施に際し、本事業の母体である和歌山県緊急雇用創出事業臨時特別基金活用事業の趣旨に則り調査員及び事務員を雇用した。

・データベース登録企業数 382件（累計2,362件）

7 ふるさと雇用再生特別基金活用事業（販路開拓員設置事業）

販路開拓員2名を配置し、地場産業等県内中小企業を幅広く訪問することにより、企業ニーズに合った販路開拓を支援した。具体的には、各種補助金や産品商談会の紹介・あっせん、大手企業との商談会に向けた企業情報調査を実施した。

訪問企業：日用雑貨、漆器、食品メーカー743社、機械組立・部品加工等メーカー321社

8 ふるさと雇用再生特別基金活用事業（海外販路コーディネーター設置事業）

海外販路コーディネーター1名を配置し、海外市場を目指す県内企業に対して貿易実務全般や商品企画から販路開拓までの各種サポートを実施した。具体的には、わかやま産品販路開拓アクションプログラムの円滑な遂行のため、各種支援事業の周知と企業の掘り起こしのほか、集団出展に係る事前調整・引率・事後フォロー及び個別出展に係る助言・事後フォロー等を行った。

9 わかやま産品販促支援事業

わかやま産品販路開拓アクションプログラムに基づき、県内企業が持つ優れた製品・技術力などのわかやま産品を発信するため、国内外の著名な展示会への集団出展や海外専門展示会への個別出展補助、大手メーカーとの展示商談会の開催など販売促進支援を行った。

（海外）

- ・海外展示会集団出展支援（NY国際ギフトフェア）3社
- ・海外個別出展支援（補助金4,261千円）5社

（国内）

形態	開催日	内容	参加企業数
大手企業との商談会	平成23年10月17日	大阪ガス株式会社技術マッチング会（大阪市）	3社
大手企業との商談会	平成23年11月29日	大和ハウス工業株式会社ビジネスマッチング商談会（和歌山市）	11社・機関
大手企業との商談会	平成24年1月26日～27日	関西ものづくり中小企業と日産自動車株式会社とのビジネスマッチング商談会（神奈川県）	8社
大手企業との商談会	平成24年3月27日	和歌山県新技術・新工法提案商談会 in ダイハツ工業株式会社（大阪府）	16社・機関
専門展示会への集団出展	平成23年6月22日～24日	第15回機械要素技術展	10社
専門展示会への集団出展	平成23年9月6日～9日	第72回東京国際ショナル・ギフト・ショー 秋 2011	11社
専門展示会への集団出展	平成24年2月8日～10日	第73回東京国際ショナル・ギフト・ショー 春 2012	7社

10 販売力強化支援事業（わかやまビジネスサポートセンター）

わかやま産品販売開拓アクションプログラムの国内戦略の強化を行うため、積極的な首都圏展開を目指す県内企業に対して営業拠点の提供及びABIC（特定非営利活動法人国際社会貢献センター）の協力を得ながら専門家の派遣を行った。

今年度は、6企業が入居。

企業名	取扱品	利用目的	専門家派遣回数
(株)ヤマサ脇口水産	生鮪 鮪加工品	海の生ハム海桜鮪の首都圏・関東圏での拡販するための拠点	5回

(株)インテリックス	オーダーカーテン シェードブラインド 等	関東地区の量販店、小売 店への販売強化に伴う営 業拠点	0回
ワコン(株)	段ボール、プラスチ ック段ボール、 ボックスパレット等	首都圏での販路開拓。 営業拠点の設置	10回
(株)伊藤農園	みかん・きよみ・ はっさく等100% ピュアジュース	東京市場拡販のための営 業拠点	1回
(株)ドリーム産業	ペット用ドライヤ ー・テーブル・ドッ グバス・シザー等	アフターサービス拠点 (主に関東圏)	8回
(有)シーエスピー	授乳服・子供服・ 育児雑貨	首都圏への販路開拓、情 報収集	1回

11 債権管理事業

(1) 設備貸与・資金貸付事業

設備貸与企業や設備資金貸付企業に対して、企業訪問を行って債権回収の強化を図った。
なお、平成23年度は未収債権 603,000 円を回収した。

(2) 創造的中小企業創出支援事業

ベンチャーキャピタルを通じて間接投資企業の経営状況を把握することに努めた。
また、ベンチャーキャピタルに、代位弁済を行い、求償権を取得した。

12 わかやま産業技術振興事業

(1) 技術研修事業

技術人材育成のための各種講座を開催した。

ア 基礎技術講座

・講座回数 6回 参加者総数 136名

	内 容	開 催 日 等	参加者数
1	食品製造現場の「見える化」と品質管理のポイント研修	平成23年11月25日 和歌山ビッグ愛 研修室	16名
2	品質管理の基礎と実践のポイント研修	平成23年5月 (5/13、5/23、5/30) 和歌山ビッグ愛 研修室	30名
3	納期管理とリードタイム短縮のポイント研修	平成23年6月 (6/6、6/13、6/20) 和歌山ビッグ愛 研修室	19名
4	生産現場改善のポイント研修	平成23年7月 (7/13、7/19、7/27) 和歌山ビッグ愛 研修室	29名
5	コストダウン実践のポイント研修	平成23年9月 (9/14、9/21、9/28) 和歌山ビッグ愛 研修室	26名
6	技能・技術伝承の進め方ポイント研修	平成23年10月～11月 (10/26、11/2、11/9) 和歌山ビッグ愛 研修室	16名

- イ 夏休みのおもしろ科学の実験工作教室
- ・ 8月4日、5日 和歌山市開催 参加者 34名
 - ・ 8月8日 田辺市開催 参加者 18名

(2) 専門技術研究会事業

県内の様々な産業分野における専門技術の動向、専門知識等の普及と参加企業相互の情報交換を図るため、公設試験研究機関、大学等の研究員が主宰する専門技術研究会の運営を助成した。

研究会数 11 研究会 開催回数 延べ 49 回

番号	研究会 名称	研究会 代表研究主査所属機関	人数構成			計
			産	学	官	
1	県特産品への感性価値付与検討研究会	和歌山工業高等専門学校	50	3	0	53
2	有機太陽電池研究会	和歌山大学	22	12	15	49
3	機能性食品研究会	和歌山県立医科大学	13	3	1	17
4	基礎機器分析技術研究会	和歌山県工業技術センター	49	16	24	89
5	ファインケミカルズ研究会	和歌山県工業技術センター	24	8	10	42
6	感性価値創造のための、ものづくりと評価技術の研究会	和歌山県工業技術センター	11	0	8	19
7	木質バイオマス利活用研究会	和歌山県工業技術センター	10	0	13	23
8	日本薬局方研究会	和歌山県工業技術センター	28	0	7	35
9	環境技術研究会	和歌山県工業技術センター	16	2	7	25
10	繊維・プラスチック材料の基礎知識	和歌山県工業技術センター	10	0	8	18
11	食における品質管理研究会	和歌山県工業技術センター	21	0	8	29
			254	44	101	399

(3) 技術情報提供事業

テクノ振興部の活動等を紹介する情報誌「テクノウェーブWAKAYAMA」を発行した。

(4) 技術交流促進事業

和歌山県内の大学・高等工業専門学校・公設試験研究機関が取り組んでいる技術シーズに関して、産学官の連携促進と人的交流を図り、共同研究や技術移転等へと発展するきっかけを提供することを目的に「わかやまテクノビジネスフェア'11～わかやま発技術シーズ発表会～」を開催した。

開催日 平成23年12月7日(水)

場 所 アバローム紀の国

来場者 162名

基調講演 「地域に生き 世界に伸びる」～経営環境の激変を越えて～

講師 一般社団法人関西産業活性協議会 理事長 大槻眞一氏

技術シーズ発表会

- A 「バイオ・化学・食品」分科会 8件
- B 「機械・金属・装置・医療」分科会 7件
- C 「電気・情報通信」分科会 8件

ポスターセッション・交流会

同時開催 第19回インフォ・フェア'11inわかやま
特許相談コーナー

(5) 企業交流促進事業

話題提供者を中心に、自然科学・人文科学を含む広い範囲のテーマについて理解を深めるとともに、各分野の参加者が自由な立場で出会い、産学官のより一層の交流を図るため、テクノサロンを6回開催した。

回数	開催日	演題等	講師等
111回	平成23年 6月22日	住友金属工業(株)和歌山製鉄所 大河内記念生産賞「高炉長寿命 化技術の開発」のご紹介	(株)住金鋼鉄和歌山 取締役製鉄部長 山下道彦氏
112回	平成24年 1月25日	地場産業の産業復興にむけて ～老舗企業に学び、人づくり、 モノづくりにかける～	住化スタイロンポリカーボネ ート(株) 代表取締役社長杉本 宏明氏
113回	平成23年 9月16日	花王(株)和歌山工場 花王製品の環境対応包装材料の 開発について～花王での取組み 事例を中心に～	花王(株)包装容器開発研究所 所長 畑 雅治氏
114回	平成23年 10月28日	見学会 ① 関西電力(株)南港発電所エル・シティ館 ② 津波・高潮ステーション ③ (株)河内ワイン 河内ワイン館	
115回	平成23年 12月9日	近畿大学先端技術総合研究所 ロボット工学・技術センター センサー研究30年～ロボット センサーは人の感性を超えるこ とができるか～	近畿大学先端技術総合研究所 ロボット工学・技術センター 長 栗山敏秀氏
116回	平成24年 3月2日	関西TLOの経営改革と知財の 事業化プロデュース	関西ティ・エル・オー(株) 取締役 坂井貴之氏

(6) 広域的新事業支援連携事業

ア 和歌山大学、近畿大学並びに県内情報サービス関連企業との産学官連携推進のため、若手研究者と情報サービス企業による研究成果発表会を2回開催し、最新の技術と知識の普及を行った。

・平成23年9月27日 ルミエール華月殿

発表4件（和歌山大学システム工学部教員、近畿大学生物理工学部教員、会員企業）

パネルディスカッション（教員5名、企業2名）

・平成24年2月6日 ルミエール華月殿

和歌山大学システム工学部大学院生、近畿大学生物理工学部大学院生によるショ
ートプレゼンテーション且つポスターセッション 27件

イ 日本食品微生物学会主催の食品の品質・衛生管理に関する学術セミナーに後援し、最新の技術と知識の普及、産学官交流に貢献した。

・平成 24 年 3 月 2 日 和歌山市民会館

講演 5 件

ウ ワンディ・WINTEC in 有田

県内企業の技術力の向上と研究開発を支援するため、工業技術センター業務の紹介・利用事例紹介、情報提供及び公益財団法人わかやま産業振興財団業務の紹介や情報の提供を行った。

日 時 平成 23 年 10 月 19 日（水）

場 所 有田市文化福祉センター

内 容 利用事例紹介 2 件、情報提供 3 件

展示・相談コーナー（ポスター展示、試作品の展示、実機の実演）

来場者 155 名

エ 平成 23 年度農業・林業・水産技術成果発表会

農林水産技術に係る試験研究機関の成果発表を行うとともに、公益財団法人わかやま産業振興財団が行う農林水産物・技術を活用した商品開発等の補助金等を紹介。

林業技術成果発表会

日 時 平成 24 年 2 月 10 日（金）

場 所 上富田文化会館

内 容 成果発表 9 件

来場者 53 名

水産技術成果発表会

日 時 平成 24 年 2 月 10 日（金）

場 所 紀南文化会館

内 容 基調講演、成果発表 6 件

来場者 90 名

農業技術成果発表会

日 時 平成 24 年 2 月 21 日（火）

場 所 和歌山県農林水産総合技術センター

内 容 成果発表 19 件

来場者 102 名

13 中小企業知的財産戦略支援事業（近畿経済産業局事業）

中小企業外国出願支援事業

外国で特許権が成立した場合等に権利を活用した事業展開を計画している、知的財産を戦略的に活用し、経営の向上を目指す和歌山県内中小企業 3 社に対して、外国への特許・意匠・商標出願を支援した。

企業名	出願の種類	発明名称	出願国
妙中パイル織物(株)	特許	液晶パネル基板用ラビング材	中国、台湾
ヤマホ工業(株)	特許	部分継ぎ手とそれを用いた噴霧ノズルユニット	アメリカ、韓国
(有)ガンクラフト	商標	—	韓国

14 地域イノベーション戦略支援プログラム（都市エリア型）事業（文部科学省事業）

実用化・事業化に向けた共同研究を実施するとともに、研究交流会の開催及び展示会への出展等を行い、連携促進の活動を実施した。

課題名：和歌山県紀北紀中エリア「和歌山の特産果実と独自技術を活用した新機能性食品・素材の開発」

(1) 共同研究事業

- ・次世代型青果物剥皮技術の開発
- ・一次加工果実のための新規安全性獲得・管理技術の開発
- ・クエン酸発酵による新しい果実飲料の開発
- ・健康増進作用を有する機能性成分の解析とその原体調製法の開発
- ・健康増進作用を有する機能性成分の動物及びヒトでの評価
- ・香気成分・色素成分の活用技術開発
- ・機能性の高い梅果実供給に向けた栽培管理技術の開発

(2) 平成 23 年度における研究交流事業

ア 産学官連携の推進

事業関連分野の最新情報やユーザー企業による新製品開発などの話題を提供する研究交流会を開催した。

- ・研究交流会 2回
- ・成果発表会 1回

イ 研究開発成果の普及活動

15 戦略的基盤技術高度化支援事業（近畿経済産業局委託事業）

近畿経済産業局から委託を受けて行う大型研究開発事業で、和歌山大学、近畿大学、和歌山県工業技術センター、県内企業などの共同研究に参画する機関への再委託により、研究開発事業を実施している。

ア 採択テーマ MEMS 技術を応用した静電気非接触可視化システムの実用化
共同研究体 阪和電子工業(株)、和歌山県工業技術センター、学校法人近畿大学
事業実施期間 平成 22 年度～平成 24 年度

イ 採択テーマ 自動車エンジン用ピストンの生産効率の向上に資するダイカスト鑄造技術の開発
共同研究体 アクロナイネン(株)、国立大学法人和歌山大学、和歌山県工業技術センター
事業実施期間 平成 22 年度～平成 24 年度

ウ 採択テーマ FRP 樹脂成形金型用 DLC 膜とその大型化技術の開発
共同研究体 (株)保田鉄工所、和歌山県工業技術センター
事業実施期間 平成 23 年度～平成 25 年度

16 地域イノベーション創出研究開発事業（近畿経済産業局委託事業）

近畿経済産業局から委託を受けて行う大型研究開発事業で、和歌山県工業技術センターと県内企業の研究開発に参画する機関への再委託により、研究開発事業を実施している。

採択テーマ プリンテッド・エレクトロニクス用受容層の開発
共同研究体 新中村化学工業(株)、和歌山県工業技術センター
事業実施機関 平成 22 年度～平成 23 年度

17 ふるさと雇用再生特別基金活用事業

「商品開発計画作成」及び「商品開発計画スケジュール管理」をサポートする商品開発サポーター 1 名を設置し、新たな商品開発のアイデアを具体的に計画書として作成するとともに、スケジュール管理を側面から支援した。

- ・相談企業数 59 社、相談回数 347 回、助成金等の獲得 7 件

また、「研究開発事業事務支援」を行う事務支援員 1 名を設置し、国等の競争的研究開発資金に関係する申請書類の作成や経理等の事務手続きについて、相談対応やアドバイス等の支援を行った。

- ・対応した主な事業・・・戦略的基盤技術高度化支援事業、国内立地推進事業費補助金、イノベーション拠点立地推進事業、ものづくり日本大賞など

